

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	838.00	2020/6/1
High	859.22	2020/6/2
Low	809.00	2020/6/5
Close	825.00	2020/6/5

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	2905.00	2020/6/1
High	2991.00	2020/6/3
Low	2854.00	2020/6/5
Close	2907.00	2020/6/5

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1941.00	2020/6/1
High	1992.00	2020/6/2
Low	1824.00	2020/6/4
Close	1953.00	2020/6/5

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6723.00	2020/6/1
High	6989.00	2020/6/5
Low	6376.00	2020/6/4
Close	6880.00	2020/6/5

ニュースエクスプレス

アンプラッツ、コンバータープラントでの漏出事故を受けて再びPGM施設を閉鎖

プラチナ生産世界最大手の南アフリカのアンゴロ・アメリカン・プラチナム（アンプラッツ）は南ア、ルステンブルグにあるアンゴロ・コンバーター・プラント(ACP)を再び閉鎖したと発表。わずか1週間前にフェイズBと呼ばれる施設の漏出を修復したばかりの矢先だった。今回は、3月から1億5000万ランドをかけて修復しているフェイズBの高圧冷却システムで新たな漏出が見つかった。

当該施設はシャットダウンされ、従業員は安全に避難。アンプラッツは閉鎖期間については言及していないが、今週初めには詳細を発表するという事だ。

フェイズBの元々の修復は予定より数週間早く進められており、その間ACP全体が3月初めから5月半ばまで操業停止となっていた。

(ソース: <https://www.miningmx.com/news/platinum/42145-amplats-shuts-pgm-processing-facilities-a-second-time-after-detecting-fresh-leak/>)

新型コロナウイルス感染症の拡大、パラジウム価格の上昇に突然の歯止め

新型コロナウイルス感染症の拡大は、南アフリカ、ロシアの鉱山会社、さらにはロンドンの犯罪者にまで恩恵をもたらしていたパラジウムの高騰に終わりをもたらすことになった。パラジウム価格は過去5年間で270パーセントも上昇。2月には米ドル2800/ozを記録し、イギリスの首都ロンドンでは犯罪を誘発していた。ロンドン警察によると自動車浄化触媒装置の盗難は前年度の1674件から、去年は8248件と急増。

しかし新型コロナウイルス感染症の発生以来、世界中で自動車工場が閉鎖され、パラジウム価格は3分の1に下落した。BMO Capital MarketsのアナリストであるColin Hamilton氏によると今年初めの予想ではパラジウム需要は供給を100万オンス以上も凌ぐとされていたが、自動車業界のスランプと同時に、中国が新型コロナウイルスによる自動車メーカーの経済的窮地を救うために排ガス規制を緩和したため、パラジウムの需要は減少した。

(ソース: <https://world-news-monitor.com/technology/2020/06/02/pandemic-brings-palladiums-record-run-to-screaming-halt/>)

PGI、感染症拡大終息後の回復を見据えた宝飾品トレンドを発表

プラチナ・ギルド・インターナショナル(PGI)は2020年のプラチナ・ジュエリー・ビジネス・レビュー(PJBR)を発表した。これは1000にのぼる製造業社、小売販売社、さらにプラチナの主要市場である日本、中国、アメリカ、インドの消費者4000人を対象とした調査結果をまとめたもの。

レビューによると、新型コロナウイルス感染症拡大終息後の回復の焦点となるのは、デジタル戦略、中流層向けのマーケティング、さらにはブランドとしての「物語」を伝えるマーケティングとしている。

当調査によると、ほとんどの消費者は、新型コロナウイルス感染症の拡大を経験したことで、人生における物事の優先順位を再考しており、感染症拡大以前に比べて宝飾品に同等、あるいはより多くを費やしたいとしている。このような動きは愛情を表すプレゼントとしての宝飾品分野に最も恩恵をもたらすと思われ、それに応える準備ができて宝飾品ブランドは成長し、愛情を表現するギフトに最も強い関連性のあるプラチナは、このような消費者トレンドに重要な貴金属となるだろうとしている。

(ソース: <https://platinumguild.com/research-publications/platinum-jewellery-business-review/>)

イリジウムとプラチナが使われる電気分解装置は環境に優しい水素発生装置

世界で拡大している水素経済はプラチナとイリジウムの需要成長にとって非常に大きなチャンスである。新型コロナウイルスの感染拡大は二酸化炭素の排出を減らし、クリーンエネルギーの導入へむけて各国政府に拍車をかけることになった。ロックダウン期間中の世界の二酸化炭素排出量は大幅にダウン(マイナス8%)し、人々が街中で綺麗な空気の重要さを再認識するきっかけとなった。先週、欧州委員会が発表した「次世代のEU」と名付けられた7500億ユーロにのぼる感染症拡大からの復興のための経済対策は、水素経済の活性化が大きな柱となっている。

大型交通機関や重工業に必要な二酸化炭素排出ゼロの燃料を作り出すために今、注目されているのが電気分解装置である。電気分解装置は電流を使って電解液を水素と酸素に分解する装置で、様々な技術が開発されている。大量の水素発生に最も適しているのがプロトン交換膜電気分解装置(PEM EL)で、触媒及び耐腐食用のコーティングにはプラチナとイリジウムが使われている。

(ソース: https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20200602.pdf)

WPIC直近の活動

- ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC) は日本語版の2020年第1四半期の『Platinum Quarterly』を発行しました。詳しくは https://platinuminvestment.com/files/186857/WPIC_Platinum_Quarterly_Q1_2020_JA.pdf
- WPICのオフィシャルFacebookとTwitterアカウントを開設されました。下記QRコードでフォローのほど、何卒よろしく願いいたします。



(@wpijapan)